



No.2096 円型試料採取器

本器は下記の円形の試料を迅速に採取する目的で製作されています。採取されたシートはつぶれたり、切口が不揃いにならないよう、正確に裁断出来ます。取付刃には両刃剃刃をセットしており、交換が容易にできます。

1. 層間はく離試験用 面積 19.36cm²
直径 60.7mm(ミュールン高圧用)
センター穴 φ34.9mm
2. フラットクラッシュ試験用 面積 32.2cm² 直径 64mm
3. 坪量試験用 面積 100cm² 直径 112.8mm

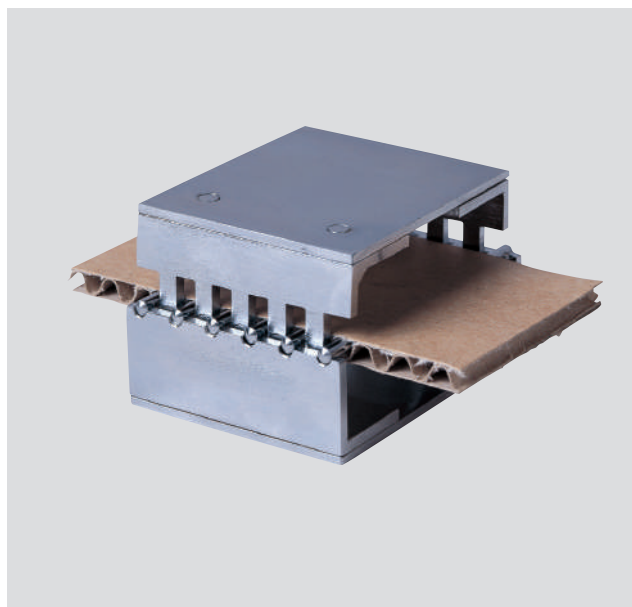
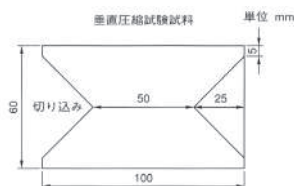
外径寸法 | 直径 83 ~ 135mm 高さ 120 ~ 136mm
重 量 | 3kg



No.2097 コラム圧縮試験器(エンドクラッシュ)

本器は段ボールシートの垂直圧縮強さを測定するもので、エンドクラッシュとも呼ばれています。段ボールシートを垂直に立て、荷重を加え段ボールシートの壁面が挫屈するまでの最高荷重を測定する方法です。段に垂直方向の強度は、段ボール箱の耐圧強度に相関ある特性値で、原紙のリングクラッシュとも相関があります。エンドクラッシュ用試料裁断機(No.2134)で採取した試験片をクラッシュテスタに本アタッチメントと共にセットして、測定します。

参考規格 | JIS Z403-2 ISO 3035
外形寸法 | 170×90×80mm
重 量 | 0.9kg



No.2098 層接着試験器(ピンテスター)

両面段ボールの場合、2枚のライナーと段繰りされた中芯とが強固に接着されていて、構造体としての強度を発揮します。この接着強度の試験方法としては一組のピンを段ボールの山のピッチに交互に差し込んでコの字型に組み、クラッシュテスターの圧縮板上にセットし、接着強さを読み取ります。この方法は、両面ピンといい、接着強さの弱い両よりはく離します。片面測定の場合は、ピンをフルートに1本おきに差し込み測定します。

測定片 | 両面ピン A 段 50×50mm B 段 30×80mm
片面ピン A 段 50×80mm B 段 50×80mm
参考規格 | JIS Z-0402-1995 TAPPI T-821
外形寸法 | 両面 A 50×60×20mm B 77×69×19mm
片面 A 77×67.5×20mm B 77×49×19mm
重 量 | 0.5kg